

平成24年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

■酒田港港湾管理者挨拶：山形県知事 吉村美栄子 代理 酒田港湾事務所長 熊坂俊秀

こんにちは。知事に代わって出席させていただきます。山形県港湾事務所長の熊坂です。よろしくお願ひいたします。酒田港の開港は1492年といわれ、数えてみますと今年で520年になります。江戸期に入り、当時主要な幹線航路であった西廻り航路の拠点港として、酒田港は大変な活気をみせます。今日は京都の舞鶴からもいらしていると伺っています。酒田甚句の文句のなかに「ほんまに酒田は良い湊、繁盛じゃおまへんか」という西の言葉、京言葉が使われています。酒田の民謡のなかに京文化が生かされている。そういうふうな町でございます。

明日開催する「みなとオアシスマつり」では、チラシにもありますように今年是对岸で「おいしい山形夏祭り」というイベントも同時に開催しております。ぜひ楽しんでいただければと思います。では、知事の挨拶を預かっておりますので、代読させていただきます。

『[代読] 平成24年度日本海にぎわい交流海道ネットワーク総会の開催にあたり、酒田港港湾管理者として一言ご挨拶申し上げます。日本海沿岸の港湾を核とした地域振興に取り組んでおられるネットワーク会員の皆様には、日頃から酒田港の利用、及び地域発展にご協力いただいていることに厚く御礼申し上げます。また、本日は遠路はるばる山形県酒田市にお越しいただき、心から歓迎申し上げます。さて、酒田港は江戸時代から舟運によって栄えた港で、海の玄関口として本県の産業発展に寄与してまいりました。近いところでは一昨年の重点港湾の選定に加え、昨年11月にはリサイクル部門で唯一の日本海側拠点港に選定され、日本海側を代表する拠点として一層の活躍が期待されており、県におきましても酒田港の振興に積極的に取り組んでいるところです。また、酒田は古くから商人地で栄え、住民主体による沿岸諸国との交流やまちづくりで発展してきた歴史があり、現在も官民が一体となって酒田の活性化に向けた取組みを行っております。そのような中、ここ酒田におきまして、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会が開催されますことは、誠に意義深いものがあると考えております。湊町の振興という想いを同じくする者同士が一同に会し、連携と交流を深め、知恵を出し合うことは、取組みを進めていく上で非常に重要であると考えております。本日の総会が会員の皆様方にとりまして有意義なものとなりますよう心からご期待申し上げます。末筆に、山形県酒田港の振興にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日ご参会の皆様のみすますのご発展を祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。平成24年7月27日 山形県知事吉村美栄子』

明日は知事も酒田市にいますので、どこかでお会いできた時にはよろしくお願ひいたします。

